

# 新左翼

## 記事紹介

- 二面 反戦青年委員会  
特集 北大阪反戦、西  
宮反戦
- 三面 八幡反戦座談会  
(2)
- 全国高校生10・  
21闘争委員長談  
四面 コロンビア大学  
闘争報告(3)

# 反戦を70年安保の主体へ

## 昨秋来の闘争総括

### 関西地区討論集会開く

関西地区反戦連絡会議は、八日午後一時から尼崎労働福祉会館に加盟各地反戦の代表的団体を結集して、討論集会をおこなった。この集会は、六五年の日韓条約反対闘争を契機として結成され、砂川基地闘争によってその質的転換の途につき、昨秋来の戦線的な反戦闘争の一環をなす闘争の発展によって、大きく成長し、前進してきた。反戦が、今後七〇年安保に向けての闘争をさらに発展・拡大していくため、いままでの闘いを総括し、方針を確立して、確固たる展望のもとに新しい飛躍を期すため開かれた。集會は、各地反戦からの報告意見をもち、①七〇年安保を構成する内表とは何か②七〇年闘争を担う主体をどう形成するのか③反戦はどのような状況で生まれたか、どのような役割をはたしてきたか。今後どのような役割をはたすことができるのか④

生産点における反戦闘争とは何かのテーマにもとづいて分科会と全体集會がおこなわれた。

事前に各地反戦で何回かの合宿もくめられた総括討論をもつて結集したこの集會は、充実した内容をもった報告がおこなわれ、闘争の経験の集約と今後の闘争の展望をきりひらこうと、大きな前進を示すものであった。しかし第一回の全体討論集會であるため、今後さらに討論をふかめ、解明されなければならぬ課題があきらかにされた。共通の基礎と問題意識のもとであらうかまされたこの対立を、継続する討論のなかで克服することによって、あらたな発展をとりよせようとしている。(関西記事二面)



討論は、反戦青年委員会が、特反等目的意識的につくられてきた。特に労働者階級にその獲得しに砂川闘争以後、反戦と反安保した、現地闘争を中心とした街頭実らにこれを拡大・発展させること運動の「質」を移し、え、立ち

上からせよ。これを「職場の反戦運動」として地区反戦は、常にその闘いの集約点であり、闘いのエネルギーの補給源であることとを認識したうえで、どう具体化するかに議論は集中した。

一方の主張は七〇年の主力部隊として、反戦、全学連の主力部隊を軸にした統一戦線の隊列に労働者階級本隊を参加させるため生産点で政治ストを闘い、その質をもった労働者を、層として形成する職場闘争の結成と、それと結合した、労働運動における新しい活動家集団を作り上げイデオロギー活動を強化する。これによって体制内化された労働運動を再生させ、立ち上がらせよう。

他方の主張は「一〇・八以降闘いとつてきた反帝実力闘争部隊の統一と、反権力闘争の大衆的基礎の定着」をさらに発展強化させるため「労働者の実力闘争組織を地域に、職場に作り出す」ことによって闘う。

この二つの意見の対立の背後に七〇年安保についての構想のちがいがあつた。後者は、米倉に予想される佐藤米阻止闘争を、街頭

明和の内部で修連拒否の闘いを起すからである。デモはおそらく衝撃を与え一部労働者の反戦青年委員会への結集をかくとすることができよう。しかしそのままで新明和でのストライキまで、直接引き出すことはむずかしいと思われる。反戦が統一戦線の、媒体、というところまで、その問題に今日の問題も内包する。すでに今日既成の労働運動路線にどうにかかわるべき、新たな路線の質が要求されている。このべられた報告などが、もっと論ぜられるべきではなかったか。

【解説】これらの意見の対立は最終的には、実践によって克服されるものだが、反戦青年委員会を七〇年安保を担う主体として自らを鍛えあげていくためには、あわせて次の諸問題を解明し、明確な回答が必要である。

① 反戦青年委員会の政治目標、政策をあらうかにすること。現在の階級闘争の分析のなかから「獲得した運動の質」を精神主義的に集約するのではなく、政治内容をあらうかにすること。

② 街頭闘争と職場闘争とどちらが優位かを、原則的な問題として議論することは、意味のないことである。このような議論がおこなわれる理由は、安保体制に関する全面的政治提議がなされていないからではないのか。反戦のメンバーが安保体制を実力で粉砕するために職場や工場を何ぞやせねばならないのか、あきらかにすることが必要である。その目標政策、手段を実現するために反戦の組織を拡大するには、職場での日常要求、経済要求、権利の拡大との闘いに無関心でよいとはいえず、職場闘争に重大な関心をもちたいかぎり、職場に圧倒的影響力を持つ反戦を組織することは不可能ではないのか。

③ 七〇年安保と日本の革命のなかでの反戦の立場を再確認し、現存の労働運動を革命的に再生するなかでの反戦の役割などについて、政治組織は明確な回答をだすことを、いま反戦からせまらされている。この点の解明をぬきにして、反戦に行動を提起する。反戦はもともと反対はせずのパンパンヤ動員、スケジューリング決定体になり下つてしまふのではないのか。

## 新左翼を讀もう!

住所	
氏名	

住所氏名をかくいて、大阪市大淀区本庄川崎町二一〇トミヤビル新左翼社まで送ってください。

全世界はいまや大きな革命的激動のなかに突入しました。革命的烈火がもたらがっているのは、アジア・アフリカ・ラテンアメリカだけではありませんが、中国では、帝国主義の共犯者、革命の基軸者に反対して、人民が立ち上がっています。日本、フランス、西ドイツ、アメリカ、イタリア等の帝国主義国の人々も、二十二年間の限りのからされて、革命的激動のなかに身を投じてきました。いまや、帝国主義反動派どもは、地球上どこにも身をおきこころがなく、あつたライオンの上に落ちた蟻のように、もがいています。

この世界的な革命的激動のなかにあって、既成の左翼はどんなに、無能力で、無気力であるばかりか、けがらわしい基軸者にかならないことを暴露したのです。この既成左翼をのりこえて、真の革命的党派結成をめざして多くの人が立ち上がりました。しかしこの立上った人達の間にも既成の左翼と異いだけはいわゆる内実において何らかわりがなく、新しい現実の運動の展開に何ら対応できない人々もいます。これは戦後二十年間の帝国主義的「平和」のなかで、思想的退縮がとくに深いものを示すものであります。「新左翼」は、この新しい世界革命の高揚のなかで、日本の革命運動をなす責任を自覚した諸階級と協力し、反帝闘争に一定の貢献を果すために発刊されました。

いまや、日本だけでなく、全世界にわたって、革命運動の先頭には、青年労働者と学生が立ち上がっています。彼らこそは、旧来の既成の観念にとらわれず、新しい未来を大胆につくりだしています。彼らにどんなに未熟で、幼稚な点があつても、彼らの前進を阻むものは、すべて彼らによって打ち壊されてしまつてしまつていきました。旧い枠のなかに彼らの運動を流しこみ、とじこめようとしても、できるものではありません。新しい世界革命の前進である青年労働者・学生・労働者、農民、市民と一体になった革命運動の怒涛をへりだすために「新左翼」は発刊されました。

労働者、学生、農民、市民のみならず、「新左翼」の闘争を拡大して下さい。  
友人や知人を紹介して下さい。  
一部15円、一月50円、半年300円、年間600円(送料とも)

新左翼社



# 新しい労働運動の創造をめざして

## 厚い壁つき破ろう

### 八幡反戦青年委座談会

日本独立青年の心臓部八幡製鉄で、反戦青年委員会を組織している活動家たちが、最近の反戦運動の現状と、今後の活動方針について座談会を開き、反戦青年運動から労働運動の課題、街頭闘争の戦術など、多くの問題について語りあつた。座談会には、四号と五号の二回にわたって掲載した。

### 断絶をどう埋める

#### ピラとらぬ労働者

A 反戦に結果している層は、どちらかといつても、民間より公務員が多いし、民間といつても労働者より頭脳労働者が多い。これはなぜだろうか。これには断絶があるのではないか。あるいは断絶の側面が……

B いま、われわれの間では、ミューニケイトのとり方が問題になっています。たとえ印刷物であってもミューニケイトのとり方があると思つて、たとえば、先輩が後輩に何を伝えていくとき、労働者のミューニケイトの原則をどうしたから探りだして、先輩からついでにこのことをいれたいと伝えていく。だから……

C いま、われわれの間では、ミューニケイトのとり方が問題になっています。たとえ印刷物であってもミューニケイトのとり方があると思つて、たとえば、先輩が後輩に何を伝えていくとき、労働者のミューニケイトの原則をどうしたから探りだして、先輩からついでにこのことをいれたいと伝えていく。だから……

う。たかえる地点を自分たちの力で作りだす。同時にそこで思想的な地点の形成も可能だと考えています。

忍者にならにや……大量逮捕で警察マヒ

大量逮捕で警察マヒ

忍者にならにや……大量逮捕で警察マヒ

## 帝国主義再編と闘う

### 小川 10・21全国 実行委員長 高校生運動を語る

一九六五年日独条約締結以後の日本帝国主義の国内再編が進行するなかで、自然発生的な反帝闘争がおこってきた。このなかで高校生が政治過程に突入してきたのである。

反帝運動への結果する層の最近の広がりが特徴的なのは、高校生が参加しはじめたこと。四月頃ではまだ、デモは弱まっていたが、七月に大分県が休校して以降、いよいよ高校生は積極的なデモの主体となつてきた。高校生組織も、府高連、反戦高連、反帝高連等の三派系連帯組織から、平連の系統をひく、ヤングス平連等々、高校生運動が広がっている。さらに九月二日には大阪・市岡高校の生徒が校務分掌の校長任命制に反対し、校長室を占拠して始業式ボイコットをおこなった。校長は学校からいなくなり、フル新によって大々的に報道された。市岡高校の二年生で、全国高校生10・21闘争実行委員会の責任者である小川敏雄氏は、当面の高校生運動の展望について次のように語つた。

今年には強制移動がなかった。この一連の闘争で処分者はいない。発展しえない。われわれ府高連は、だから、闘争の最初から、高校生の枠をのりこみ、指導部が自然発生的に出現して来た。この闘争の全過程で目的意識性を高めていく。これは生徒の問題。つまり、この闘争ができたからと思つて、教育に対する帝国主義的再編に対して、全人民的闘争も、多くの学園闘争は自然発生的なものではない。この闘争の成果を学園にとりこむことが、それが空論でおぼろげである。

日本共産党(解放戦線)機関誌

# 平和と独立

1968.7 第15号

株式会社 平 独 社

大阪府大淀区本庄川崎町2-10トミヤビル内  
電話 (371) 5304 振替大阪34034

発行中

送料 150(〒50)

